

新しい代用乳による子牛育成技術の確立

— 農家実証試験始まる —

ほ乳期の子牛の発育促進を目的に、免疫グロブリン(抗体)を多く含み、チーズを作る際に固形物と分離された副産物として大量に作られる「ホエー」を主原料とする新しい代用乳を使ったほ乳試験を近畿4府県と共同で実施しています。最終年度の今年は、2年間蓄積したデータを元に、京丹後市の農家と当センターで実証試験を実施中で、子牛は順調に発育しています。



生後2週目の子牛が、人工ほ乳ですくすく育っています。